

# 歯磨き道具にもこだわつて

あなたは毎日の歯磨きに、何を使っていますか？今、多種多様な口腔衛生用品があり、何を使うか迷うこともあると思います。

基本的には、歯ブラシを細かく動かして、隅々まで磨けていれば問題はありません。また細かい部分は、専用のインターインプラントを使うと便利です。

最近は電動歯ブラシも人気です。ただし、使い方に注意が必要です。インプラントと人間の歯はネジで固定していますので、電動歯ブラシを強く当てる、振動のためにネジが緩んでしまう恐れがあるからです。毛先がソフトに当たるよう正しく使用してください。

## 私たちの取り組み

私は、インプラント治療に特化した専門院として研修を重ね、知識・技術の向上を図って参りました。そのため、これまで他院や大学病院で治療が難しいと判断された患者様のインプラント治療も、数多く行わせていただきました。また最近では、医療連携を組んでいる歯科医院様からご紹介の患者様が大変多くなっています。

私は、歯を失った後の治療法の一つとして、

インプラント治療の利点を大いに認めています。患者様のお口や全身の状態などを複合的に考え、患者様がご希望すれば、インプラント治療は非常に有用な治療法だと考えています。

## 患者様向けセミナー開催



撮影/中平(藏王にて)

新年を迎え、気持ちも新たに清々しい日をお過ごしでしょうか。これからまだ寒さが厳しくなっていくことと思います。くれぐれもお気を付け下さい。さて私たちの理念は、患者様のお口を健康にすることによって、全身が健康にならうことです。私たちにできることは、お口の局所の治療のようですが、全身の健康のカギを握る大切な治療を担っていると自負しています。そしてそれだけの責任感を持つて、取り組んできます。

歯が健康で美しいことが、私たちの身体と心にどれだけ影響があるか、治療を終えた患者様の表情から痛感しています。そして、その喜んでくださつて、その笑顔が、私たちのモチベーションになっています。私たち悪い部分の治療終始することなく、お口全体が健康になることをゴールに設定していきます。基準に照らし合わせることで、患者様の健康に貢献したいと考えています。

また噛める喜びのあまり、水の塊や飴玉のような極端に硬いものをガリガリ噛んで、割れるという場合もあります。

私たちが行っているあご全体のインプラント治療をした人は、人工歯をセメントではなくネジで留めていますから、外して修理をすることが可能ですが。しかし、このような強い力が終始かかっていると、インプラン

1日で美しい笑顔が手に入る  
高度歯科医療「ワンディインプラント治療」のアフターケア情報誌

中平 宏

# ワンディインプラントジャーナル



私たちが一番お勧めしたいのは、ウォーターピックです。ノズルから噴射されるジェット水流で、ブラシでは届きにくいお口の隅々の汚れまで洗い流してくれます。特に汚れが溜まりやすい人工歯と歯ぐきの隙間も、粘膜を傷つけることなく水圧で汚れを除去します。また歯ぐきのマッサージ効果もあります。毎日使うものだからこそ、快適で使いやすいものをお選びいただきたいと思います。



タップの知識・技術、使用するインプラント・メーカーなど、医院間の格差が大きいのが現実です。私たちの元にも、インプラント治療を受けたものの、良くならないと困り果ててご相談に来る患者様がいらっしゃいます。これは、私たち歯科医師にとって大変遺憾なことです。私たち、この患者様にも満足していただける結果となるように、最善の方法をしつかりと考え、治療を行っています。

私たち、日々の歯科治療にとどまらず、

インプラント治療についての正しい知識を皆様に知つていただきたいです。

困っている人に、安全で安心なインプラント治療を受けていただき、快適なお口になつていただきたい、と願っています。

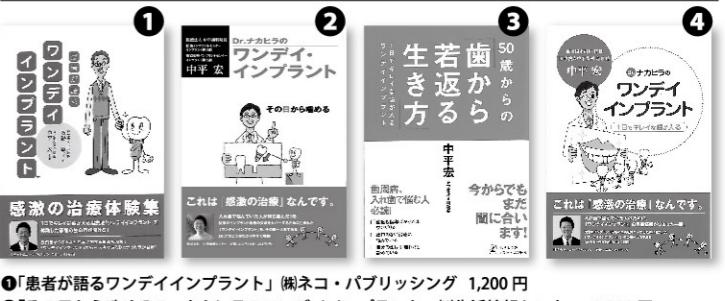
## た ほ（旧姓：中平） 多保絵美先生白衣のファッションショー出演！



日本アンチエイジング歯科学会は、オートクチュールデザイナーの演出・監督による、白衣のファッションショーを開催しました。

プロのモデルは1人のみ、あとは学会会員の歯科医師や関係者がモデルを務めました。私たちの多保先生もモデルを務め、その様子が月刊誌『歯科医療経済』の巻頭カラーページを飾りました。

## Dr.ナカヒラの本 インターネットで好評発売中!!



Dr.ナカヒラのブログ「インプラント日記」もぜひ見てね

ホームページ <http://www.tg-ic.com/>  
ブログ <http://drnakahira.livedoor.biz/>



東京銀座歯科  
東京銀座インプラントセンター  
〒104-0061 東京都中央区銀座1-7-6 銀座河合ビル8F  
TEL:03-3562-7877 www.tg-ic.com/

◀詳しくは中面にて

今回、セミナーでは、このような事例を写真を交えてご紹介しながら、悪くならないために気をつけていただきたいことは、

○隅々まで丁寧な歯磨き  
○定期的なメンテナンス  
○日頃からリラックスして食いしばりに気を付け、お口周りのトレーニングに励む

この3点です。

ト自体に問題が起こったり、インプラントと骨の結合が破壊されたりする恐れがある部分です。ここに汚れが付着したままになつていて、あるいは人工歯が強く粘膜に当たつていたりすると、粘膜が炎症を起こします。炎症は、人工歯との接点に起こりますから、自分ではなかなか確認することができません。やはり定期的なメンテナンスが必要なのです。

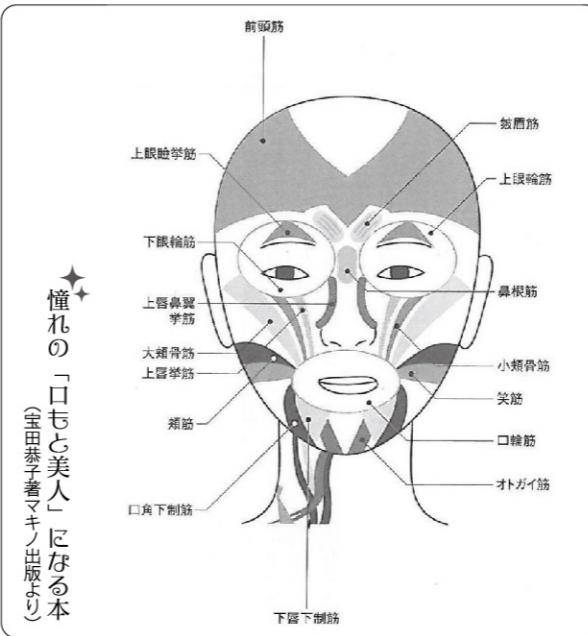
また噛める喜びのあまり、水の塊や飴玉のようないくつかの形で歯を使つて、早期に悪くなってしまうのも頗けると思います。では、インプラント治療をした後に、残念ながら悪くなる例を見てみましょう。

日本アンチエイジング歯科学会は、オートクチュールデザイナーの演出・監督による、白衣のファッションショーを開催しました。

プロのモデルは1人のみ、あとは学会会員の歯科医師や関係者がモデルを務めました。私たちの多保先生もモデルを務め、その様子が月刊誌『歯科医療経済』の巻頭カラーページを飾りました。

# お顔の筋トレで アンチエイジング

いつまでも健康で若々しくいるために、ジヨギングやウォーキングなど、運動をしている人が多いですね。運動を続けると、筋肉が鍛えられ、加齢による衰えを防ぎます。筋肉は、骨格を支えて正しい姿勢を保ち、脂肪のたるみを防ぎます。そして、機敏な動きや反応ができるので、若々しさを保つことができるのです。



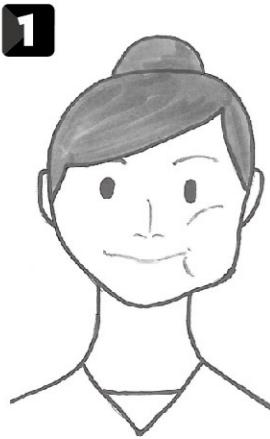
ところで皆さん、お顔の運動もしていませんか？お顔には、実に15以上の筋肉があり、様々な表情を作ることができます。これら

の筋肉も、同じように鍛えていないと加齢とともに衰えてくるのです。お顔の筋肉が衰えると、どうなるのでしょうか。

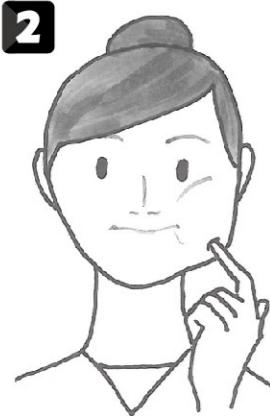
見た目には、頬やあごなどのたるみ、上顎や目元・口元にシワが現れます。口角が上がりにくくなり、暗い印象になります。動きや反応という点で言うと、発音に違和感が生じる、噛む力が弱くなる、舌や頬を噛むようになる、飲み込みにくくなる、誤嚥（ごえん）を引き起こす・・・などがあります。最後の「誤嚥（ごえん）」に対しては、生死に関わる問題ですから無関心ではありません。

では、お顔の筋肉を衰えさせないために、どうすればいいのでしょうか。お顔もやはり、意識して運動することが大切です。特に今のような寒い時期は、筋肉が委縮して動きにくくなっています。朝起きた時や食事の前などに、お顔の筋肉もウォーミングアップしてやると、スムーズに動くようになります。

## 抵抗体操



片方の頬を大きく膨らませます。



このふくらみを潰すように指を強く頬に外から押し付けます。頬は指に負けないようにふくらみを保たせます。

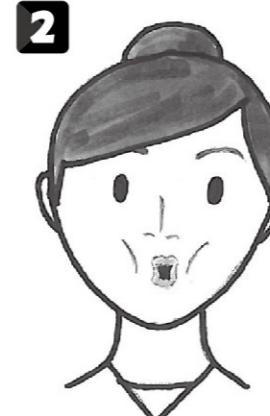
片方10秒ずつ、両側を交互に5セット行います。

\*この体操は少しきついですが、咀嚼・嚥下機能の向上を目指した、少しハードなトレーニングです。お口周りの多くの筋肉を一度に鍛えるトレーニングになりますので、短い時間からでも続けてみてください。

## 顔面発音体操

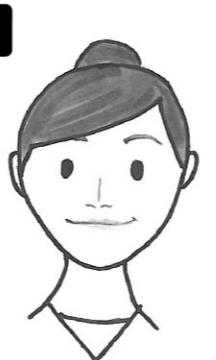


1 唇を閉じた状態から、丸く大きく開き、左右の頬全体を上に持ち上げます。  
目が三角になるような感じです。  
この状態で「あー」と5秒間声を出してください。



2 次に頬を緩めて縦長の突き出た唇を作り、「おー」と5秒間声を出してください。

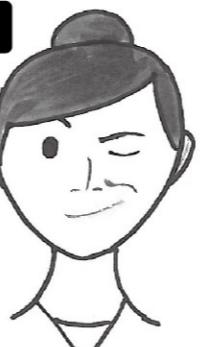
## ウインク体操



1 上下の唇を閉じ、口角を上げてスマイルを作ってください。  
(口角が上がりにくければ、左右に引くだけでも構いません。しかし、口角を上げる意識は持っていてください)  
その後楽にして20秒程度休みます。

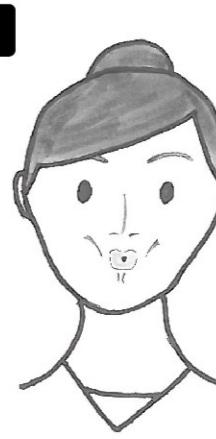


2 右の口角だけを上げながら右目を閉じてください。10秒程度キープします。



3 左も同様にします。左右順番にゆっくり10回ずつ行います。

## 口元スマイルトレーニング

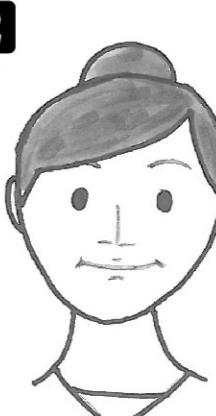


1 「う」と発音する唇の形で止め、さらに上下の唇を前方に出します。  
タコの口の感じです。

限界まで突き出したら、10秒間その状態を保ちます。

元に戻して20秒程度休憩します。

これを10セット繰り返します。



2 上下の唇を真一文字になるように閉じます。  
(口角が下がって「へ」の字にならないように気をつけましょう)

その状態で上下の唇に強く力を入れていきます。  
(上下の歯は軽く離したまま、唇に力を入れます。)

10秒ほど力をかけたら、20秒程度休憩します。

これを10セット繰り返します。